

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8 年 3 月 11 日

事業所名 Kidsプラス

保護者等数(児童数) 35 回収数 26 割合 74 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26				運動するスペースが十分にある	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	2		4		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	1		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23		1	2	各部屋を仕切るドアなどに不安を感じる	ドア周りの安全に更に配慮し、安心してご利用いただけるようにいたします
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	26					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25			1		
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	23	1		1	いつも色々な活動を楽しんでいる	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	4	1	12		
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	26					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	14	2	4	6		送迎時など、保護者様に日常の関わり方などのアプローチを行って参ります
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	25	1			・ノートにいつも活動の様子をまとめてくれるので読むのが楽しみ ・帰り際の迎えの際に、指導員からの話をゆっくりと聞きたい	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	3	2		どんな活動をしたか子どもと話すきっかけになっている	面談や日々の対話を通して、今後も適切な支援を行えるよう努力いたします
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	4	7	12		保護者様のご意向に沿うよう、検討いたします
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23			3			

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	1		2	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24			2	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25	1			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	14	2		10	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2		13	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23	3			
	23	事業所の支援に満足しているか	24	2	15	70	大変満足しており、感謝している
合計数			482	29	30	140	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8 年 3 月 11 日

事業所名 Kidsプラス

職員数 7 回収数 7 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	事業所としての改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3	3	利用人数に合わせて、指導訓練室のスペースに適した活動を行っていく
	2	職員の配置数は適切であるか		1	6	職員の欠員が出た場合、系列の事業所より職員を補填するなど効率よく行っている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		3	4	危険と思われる箇所は、カバーを備え付けたり、日頃から怪我のないように注意喚起を行っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1	1	子どもたちが心地よく過ごせるよう日々の清掃を行っており、空間に合わせた活動を心がけている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1		6	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		2	ホームページの周知を行う
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		3	ミーティングを通して案を出し、改善に努めている
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	1	積極的に参加していく
適切な支援の提	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	1		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		

供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	4		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	1	5	1	関係機関との連携をとり、職員間で共有し支援に繋げていく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		2	5	現在医療的ケアの必要な児童のご利用はないが、契約時に主治医の記載を設けている
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		1	6	現在医療的ケアの必要な児童のご利用はないが、契約時に主治医等の記載を設けている
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	1	必要に応じて利用先と慎重に連携を図り、細やかな支援を行っていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2	3	必要に応じて利用先と慎重に連携を図り、細やかな支援を行っていく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		2	5	WGで意見交換をしていることなど周知していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	5	近隣施設との交流の場を設けていく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		5	2	年間計画に沿って参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	3	1	送迎時など、保護者様に日常の関わり方などのアプローチを行っている
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		1	保護者様との契約時に丁寧な説明を心がけている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	2		

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	6 保護者様のご意向に沿って検討していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		6 イベントを通して地域の方々に事業所を理解していただけるような機会を設けていく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		1 指示書に基づき細心の注意を図って対応している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		1 全職員が虐待防止研修を受講しており、ヒヤリハットの記録も共有し対応している
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		1 全職員が身体拘束研修を受講しており、ご契約時に必ず身体拘束についての説明を行っている
合計数			201	63	65

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kidsプラス(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 15日	～	令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 15日	～	令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育という活動を主に学習、遊び(こども脳・心・身体が育つ)に取り入れて総合的な療育を行っている。	利用児童の特性や年齢に合わせてカリキュラムを考え、子ども達の成長と発達を促すことを一番に考えている。	保護者、職員間の連携を取り、利用者一人ひとりに寄り添った支援ができるように研修やケース会議を頻繁に行うことで、療育の質の向上を図る
2	言葉の発達、語彙力の向上を図る	フラッシュカードで物と言葉を結びつける	運動の中で言葉を使った遊びをする
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1			
2			
3			

事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8 年 3 月 11 日

事業所名 Kidsプラス

職員数 7 回収数 7 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	事業所としての改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2		
	2 職員の配置数は適切であるか			7	職員の欠員が出た場合、系列の事業所より補填するなど効率よく行っている
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		1	6	危険と思われる箇所はカバーを備え付けたり、日頃から怪我のないように注意喚起を行っている
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	6		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	2	ミーティングを通して案を出し、改善に努めている
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	1	積極的に研修に参加している
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	3		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4	1	朝礼・終礼時に児童の様子を共有し、記録として残している
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	4		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2		
関係機関 や保護者 との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	4		
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	6	現在医療的ケアが必要な児童のご利用はないが、契約時に主治医等の記載を設けている
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		6	1	新一年生の受け入れの際、必要に応じて慎重に情報共有をしていく
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	2	現在小学生のみのご利用
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		3	4	WGなど、意見交換をしていることを周知していく
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	6	近隣施設との交流の場を設けていく
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		6	1	年間計画に沿って参加している
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2	1	送迎時など、保護者様に日常の関わり方などのアプローチをしている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	6	保護者様のご意向に沿って検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		
	35	個人情報に十分注意しているか	7			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	6	イベントを通して地域の方々に事業所を理解していただけるような機会を設けていく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		1	全職員が虐待防止研修を受講しており、ヒヤリハットなどの記録を共有し対応している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6		1	全職員が身体拘束研修を受講しており、ご契約時に必ず身体拘束等についての説明を行っている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	1	指示書に基づき、細心の注意を図って対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			
合計数			184	62	55	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8 年 3 月 11 日

事業所名 Kidsプラス

保護者等数（児童数） 17 回収数 14 割合 82 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない		いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	いいえ				
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1				どのくらいの人数がいるのか分からない	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1		1		入れ替わりが激しい	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	1			2		
適切な 支援 の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14						
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14						
保護者 への 説明 等	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3			7	・同グループは数回あるが、他とは無い気がする ・土曜日のみ利用がないので分からない	
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14						
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	14						
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14						
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	4	6		年1回の夏祭りのみで他の保護者とはあまり交流しない	保護者様のご意向に沿うよう、検討いたします
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1		2			苦情対応窓口を設置しており、適切な対応を心がけております
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1				担当の職員の方が誰なのか分からない	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12				2	HPを見ていないので分からない	
	14 個人情報に十分注意しているか	14						
	非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10		1	3		
16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		10			4			年間計画に沿って、年2回の避難訓練を実施しております
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13			1			
	18 事業所の支援に満足しているか	13	1				・中学生までの受け入れをする としているようであるが、実際には入りにくい ・友達と出掛けることが全く無いので、出掛けて欲しい ・子ども？保護者？	・ご利用に関する詳細を 分かりやすく保護者様へお伝えし、理解していただけるようにいたします ・長期休暇やイベントなどを 利用し、外出支援の機会を増やすようにいたします
合計数		208	11	5	28			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kidsプラス(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 15日	～	令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 15日	～	令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育という活動を主に学習、遊び(こども の脳・心・身体が育つ)に取り入れて総合 的な療育を行っている。	利用児童の特性や学年に合わせてカリキュ ラムを考え、子ども達の成長と発達を促す ことを一番に考えている。	保護者、職員間の連携を取り、利用者一人 ひとりに寄り添った支援ができるように研 修やケース会議を頻繁に行うことで、療育 の質の向上を図る
2	ルールのある遊びで社会性が身につく	お友だちとのコミュニケーションを図る	ソーシャルスキルトレーニング
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	高学年の児童への支援時間やプログラムが 適切か	高学年児童の下校時間が遅いため運動遊び の時間が少ない	支援スケジュールの見直し
2			
3			

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8 年 3 月 11 日

事業所名 Cocoスマイル 保護者等数（児童数） 4 回収数 3 割合 75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2			1	子どもがどのような活動をしているのかを見る機会がない	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか		1		2	職員の入れ替わりがあるので現状の把握ができていない	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2			1		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	2	1				
	6 <u>児童発達支援計画</u> には、 <u>児童発達支援ガイドライン</u> の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2			1		
	7 <u>児童発達支援計画</u> に沿った支援が行われているか	2			1	実際の指導風景等をなかなか拝見できない	
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	2			1	実際の指導風景等をなかなか拝見できない	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1		1	実際の指導風景等をなかなか拝見できない	
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					
	11 <u>児童発達支援ガイドライン</u> の「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「 <u>児童発達支援計画</u> 」を示しながら支援内容の説明がなされたか	2					
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか			1	2		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1	1	1		以前は連絡ノートの内容が子供の様子が詳しく書いてあったが最近は運動遊びのルールや説明で終わることがあるので、もう少し知りたい	利用者様のご様子が分かるよう情報共有の改善に努めて参ります
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1		2			
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			3		必要性を感じていません	
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	1					

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2		1	もう少し、子供がどんな風に活動をしていたとか気のなる点を教えてほしい LINE等のアプリで欠席連絡ができるとさらに嬉しい	送迎時に利用者様のご様子等を詳しくご報告いたします 保護者様のご意向を踏まえ、検討させていただきます
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1		1	1	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	1			2	信じているが、正直わかりかねる
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	3				
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			2	年間計画に沿って、年2回の避難訓練を実施しております
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	1	2			「行きたい」という日と「行かない」という日がある
	23	事業所の支援に満足しているか	2	1			小集団と運動に関してとても満足です
合計数			35	8	9	17	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8 年 3 月 11 日

事業所名 Cocoスマイル

職員数 5 回収数 4 割合 80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	事業所としての改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2	職員の配置数は適切であるか	1	3		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1	1	危険と思われる箇所はカバーを備え付けたり、日頃から怪我のないように注意喚起を行っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	2		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3		1	全職員がPDCA(計画・実行・評価・改善)に沿って主体的に行動していく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		1	ミーティングを通して案を出し、改善に努めている
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	1	1	アイデアを出し合い様々な活動を行っている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	1		
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1			

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4				
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	1	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	2	1	現在医療的ケアが必要な児童のご利用はないが、契約時に主治医等の記載を設けている	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	1			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3		1	必要に応じて利用先と慎重に連携を図り、細やかな支援を行っていく	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	2	1	必要に応じて利用先と慎重に連携を図り、細やかな支援を行っていく	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	1	WGで意見交換をしていることなど周知している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			1	3	近隣施設との交流の場を設けていく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	1	1	1	年間計画に沿って参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4				
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	1	1	1	送迎時など、保護者様に日常の関わり方などのアプローチを行っている
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	2			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				4	保護者様のご意向に沿って検討していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3	1		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	2		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	イベントを通して地域の方々に事業所を理解していただけるような機会を設けていく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	1		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4			
合計数			134	14	22	

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Cocoスマイル (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 15日	～	令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 15日	～	令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育という活動を主に学習、遊び(こども の脳・心・身体が育つ)に取り入れて総合 的な療育を行っている。	利用児童の特性や年齢に合わせてカリキュ ラムを考え、子ども達の成長と発達を促す ことを一番に考えている。	保護者、職員間の連携を取り、利用者一人 ひとりに寄り添った支援ができるように研 修やケース会議を頻繁に行うことで、療育 の質の向上を図る
2	言葉の発達や語彙力の向上を図る	フラッシュカードで物と言葉を結びつける	運動の中で言葉を使った遊びを行う
3	ルールのある遊びで社会性が身につく	お友だちとのコミュニケーションを図る	ソーシャルスキルトレーニングの実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1			
2			
3			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8 年 3 月 11 日

事業所名 Cocomail

保護者等数（児童数） 14 回収数 11 割合 78.5%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2		1		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2		1		
適切 な 支 援 の 提 供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2	1	8		近隣施設との交流の場を設けます
保 護 者 へ の 説 明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	3	6		保護者様のご意向に沿うよう、検討いたします
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		2		苦情対応窓口を設置しており、適切な対応を心がけております
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1				
13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1		1			

	14	個人情報に十分注意しているか	11					
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	1		3		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11					年間計画に沿って、年2回の避難訓練を実施しております
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	9	2				
	18	事業所の支援に満足しているか	11					
合计数			157	15	4	22		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8 年 3 月 11 日

事業所名 Cocomail

職員数 5 回収数 4 割合 80%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	事業所としての改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	1	2	1	職員の欠員が出た場合、系列事業所より補填するなど効率よく行っている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		2	ミーティングを通して案を出し、改善に努めている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	1		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	1	1	担当教諭と連携を取り、情報共有に努めている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	1	現在医療的ケアの必要な児童のご利用はないが、契約時に主治医等の記載を設けている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	3	近隣施設との交流の場を設けていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	1	年間計画に沿って参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	1	送迎時など保護者様に日常の関わり方などのアプローチをしている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1		3	保護者様のご意向に沿って検討していく
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			
	35	個人情報に十分注意しているか	3	1		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		3	イベントを通して地域の方々に事業所を理解していただける機会を設けていく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		1	全職員が身体拘束研修を受講しており、ご契約時に必ず身体拘束等についての説明を行っている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		1	指示書に基づき、細心の注意を図って対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			
合計数			116	35	19	

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Cocoスマイル (放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	令和8年	1月	15日	～ 令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和8年	1月	15日	～ 令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年	2月	5日	

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育という活動を主に学習、遊び(こども脳・心・身体が育つ)に取り入れて総合的な療育を行っている。	利用児童の特性や学年に合わせてカリキュラムを考え、子ども達の成長と発達を促すことを一番に考えている。	保護者、職員間の連携を取り、利用者一人ひとりに寄り添った支援ができるように研修やケース会議を頻繁に行うことで、療育の質の向上を図る
2	言葉の発達や語彙力の向上を図る	フラッシュカードで物と言葉を結びつける	運動の中で言葉を使った遊びを行う
3	ルールのある遊びで社会性が身につく	お友だちとのコミュニケーションを図る	ソーシャルスキルトレーニングの実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	高学年の児童への支援時間やプログラムが適切か	高学年児童の下校時間が遅いため運動遊びの時間が少ない	支援スケジュールの見直し
2			
3			